

# 投稿規程

## 1. 投稿論文について

- 1-1. 日本小児科学会雑誌（以下本誌という）への投稿は、共著者も含めすべて日本小児科学会会員に限る。共著者は、論文に関する研究や経験に関与した（重要な示唆なども含む）者に限る。班研究などで、10名以上の共著者全氏名を記す必要がある場合には、本文中に一覧表として示すようにすること。
- 1-2. 論文の投稿は、本誌のみに発表するものであって、他雑誌（和文、外国語を問わず）に発表された論文、あるいは発表予定の論文の投稿ではないこと。  
ただし、本誌に掲載された論文を英訳して別紙に投稿する場合は、編集委員会へ原稿を提出し、許可を得ること。
- 1-3. ヒトを対象とした研究は「ヘルシンキ宣言（以後の改訂を含む）」に、また動物実験は「大学における動物実験の実施に関する基本的な考え方について（日本学術審議会）」およびこれらに準ずる指針の規定を遵守すること。特にヒトを対象とする研究においては、患者等の匿名性を十分守ったうえで、論文中にインフォームド・コンセントを得たこと、所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載すること。症例報告においても、必要に応じて同様に対応すること。
- 1-4. 利益相反に関しては、日本小児科学会が定める規定に則り、投稿時に有無について開示する。
- 1-5. 論文の採択は、編集委員会で決定する。採択に当たって、編集委員会は原則として2名以上に査読を依頼する。採用の決定が行われた日を受理日とする。受理日以降は内容の変更（著者名の変更なども含む）は一切認めない。変更が必要な場合は、新規投稿扱いとなる。
- 1-6. 査読により訂正稿となった場合は、6か月以内に再投稿すること。期限を過ぎた場合には新規投稿となる。
- 1-7. 掲載の順序は受理日の順とする。ただし、必要書類提出など掲載条件が完了されない場合は掲載が遅れることがある。
- 1-8. 投稿にあたり編集協力費として10,000円を下記振替口座に振り込み、振込日、振込名義を投稿時に入力すること。（振込先郵便振替口座：00170-3-45386 加入者名：日児誌編集 ニジジシハシユリ）

## 2. 論文種別と領域について

- 2-1. 本誌の論文の種別は総説（依頼総説・原著総説）、原著（臨床・基礎研究）、症例報告、短報、論策とする。
- 2-2. 総説は、編集委員会からの依頼によるもの（依頼総説）と投稿によるもの（原著総説）とに分ける。ここで原著総説とは、過去に出版された論文をまとめることにより新しい概念を提案するもの、争点を整理し、今後の研究の方向性に示唆を与えるものとし、採否は査読を経て決定される。
- 2-3. 短報は速報性を重視した内容で、創意に富み可及的に掲載する必要がある論文とする。
- 2-4. 論策は、小児医療、小児医学教育、小児社会学などに関するものとし、アンケート調査などデータに基づき、著者の意見を述べた論文とする。

2-5. 投稿時に論文の領域を申告する。論文領域は下記の通りとなる。

- |                      |             |             |
|----------------------|-------------|-------------|
| 1. 新生児               | 2. 循環器      | 3. 神経・筋     |
| 4. 精神・心身             | 5. 血液・腫瘍    | 6. 免疫・アレルギー |
| 7. 先天異常・遺伝           | 8. 腎・泌尿・生殖器 | 9. 内分泌・代謝   |
| 10. 感染症              | 11. 呼吸器     | 12. 消化器・栄養  |
| 13. リウマチ・膠原病         | 14. 保健      | 15. 救急      |
| 16. その他（思春期、外科、病理など） |             |             |

2-6. 論文の種別、領域は最終的に編集委員会で決定する。

### 3. 執筆要項について

3-1. 原稿構成

- (1) 第1ページ目は表紙とし、表題、各々の著者の所属、著者全員の氏名、キーワード、連絡責任者の住所、所属、氏名、電話、FAX、e-mail アドレスを記載すること。
- (2) キーワードは5個以内とし、索引として役に立つものを選ぶこと。略語は使用しないこと。たとえば、VSD とせず、心室中隔欠損とすること。また、外国語を用いる場合は、適切な日本語がない場合に限る。
- (3) 第2ページ目に要旨、第3ページ目以降は、以下の順に作成すること。
  1. 本文、2. 文献、3. 英文抄録（表題、全著者、全著者所属、抄録）
- (4) 図、表は1点600字換算とする。

3-2. 論文種別の文字数、文献数、図・表は以下の通りである。

論文の種別	文字数 (本文+図表)	要旨	文献	英文抄録	キーワード	組上がり 規定ページ数
原著総説	15,000 字以内	600 字以内	制限無し	250word 程度	5 個以内	8 ページ以内
原著（臨床・ 基礎研究）	15,000 字以内	600 字以内	20 編以内	250word 程度	5 個以内	8 ページ以内
症例報告	9,000 字以内	600 字以内	15 編以内	250word 程度	5 個以内	5 ページ以内
短報	4,000 字以内	300 字以内	5 編以内	150word 程度	5 個以内	2 ページ以内
論策	11,000 字以内	600 字以内	10 編以内	なし	5 個以内	6 ページ以内

3-3. 組上がりで規定ページ内の場合には無料とする。規定ページを超える場合は、1ページあたり 15,000 円の著者負担とする。

3-4. 著者の所属は、投稿時のものではなく、論文に関係する仕事をした時のものを記すこと。

3-5. 表題は簡潔にし、原則として 40 字以内とし、副題は付けないこと。

3-6. 英文抄録、その他の英語表現に関する部分について、英文校閲を受けた上で投稿すること。編集委員会で科学的知識を有するネイティブの校閲が必要と判断した場合には、校閲を受けた証明書を添付すること。

3-7. 論文を分割し、第1報、第2報などとする場合、同一号に掲載する編数は2編以内とする。

3-8. 原稿は、以下の要領に従って作成すること。

- (1) 現代かなづかい、常用漢字を用いること。
- (2) 学術用語は原則として『小児科用語集』（日本小児科学会編）によること。外国語は極力避け、その使用は適当な日本語がない場合に限る。
- (3) 表題には略語を用いないこと。ただし略語を使用したほうが分かりやすい場合は認められる。
- (4) 本文中に略語を用いる場合は、一般に使われているものに限る。その場合、初出の際に省略しない語を記載し、括弧内に略語を示すこと。
- (5) 原則として、外国人名は原語で、薬品名は一般名で記載すること。
- (6) 英数字は半角文字を用いること。

3-9. 図・表については以下の要領に従うこと。

- (1) 表は、必要な情報を簡潔明瞭に示し、何を示そうとしているか分かる表題を付けること。
- (2) 図・表は、本文を参照しなくともその図・表のみで内容が分かるように工夫すること。
- (3) 図・表とその説明文・表題などは極力日本語を使うこと。
- (4) 図・表には各々につきアラビア数字で番号を付すこと（図 1、表 1 など）。
- (5) 図・写真は、そのまま縮小可能な形であること。従って、縮小されても情報が読み取れるものとする。
- (6) 患者の顔写真を使用する際は、患者あるいはその親権者もしくはその法定代理人の許可を得、許可を得たことを写真の説明の中に明記すること。やむを得ない理由でその許可を得ることが不可能な場合は、目の部分を隠すなど、患者の同定を不可能にする工夫をすること。

3-10. 数字はアラビア数字を用い、数量の単位は km、m、cm、mm、 $\mu\text{m}$ 、l、dl、ml、 $\mu\text{l}$ 、kg、g、mg、 $\mu\text{g}$ 、mEq/l、mg/dl などを用いること。 $\text{mm}^3$ 、cmm などは用いず、 $\mu\text{l}$  を用いること。

3-11. 引用文献

- (1) 文献は必要最少限にとどめること。
- (2) 記載順序は引用順とし、本文中の引用箇所は、その右肩にアラビア数字を記入すること。
- (3) 文献の書き方は、次の形式による。
  - 1) 雑誌の場合：著者名．表題．雑誌名 発行年；巻：最初ページー最終ページ。
  - 2) 単行本の場合：著者名．書名．版数．発行社の所在地名：発行社、発行年。
  - 3) 分担執筆による単行本の中の分担部分の引用の場合：著者名．分担執筆部分の表題．編集者名．書名．版数．発行社の所在地名：発行社、発行年：分担部分の最初ページー最終ページ。
  - 4) 雑誌名は、その雑誌指定の略名がある場合はそれをを用い、ない場合は Index Medicus あるいは医学中央雑誌の収載誌略名を用いること。
  - 5) 発行年は西暦を用いること。
  - 6) ページは通巻ページを用いること。
  - 7) 著者名は、3 名までは全員を記載する。4 名以上の場合は最初の 3 名を記載し、「, 他」あるいは外国語文献の場合は「, et al」を付する。
  - 8) ウェブページの場合  
著者名（分かれば）. “Web ページの題名”. Web サイトの名称. 入手先 URL, (参照日付).  
とし、数年間はデータを保存する。

9) 和訳された文献

Bron EJ, Weistein MP, Dunne WM , et al. (松本哲也, 満田年宏訳) Cunitech 血液培養検査ガイドライン.

10) 実例

- a) Beltramin AU, Hertzig ME. Sleep and bedtime behavior in preschool-aged children. Pediatrics 1983;71:153-158.
- b) 鈴木義之. 細胞生物学からみた遺伝性酵素欠損症の病態. 日児誌 1984 ; 88 : 405-408.
- c) Cohen MM. The child with multiple birth defects. New York:Raven Press 1982.
- d) 松永 英. 日本における遺伝性疾患の頻度. 日暮 眞編. 遺伝相談. 小児科 Mook32.東京: 金原出版, 1984:1-11.
- e) Dorken B, Moller P, Pezzuto A, et al. CDw75. In:Knapp W, Dorken B, Gilks WR, et al, eds. Lymphocyte typing IV:white cell differentiation antigens. New York:Oxford University Press, 1989:109-110.
- f) 日本小児科学会小児死亡登録・検証委員会. “子どもの死に関する我が国の情報収集システムの確立に向けた提言書”. 公益社団法人日本小児科学会.  
<http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php>, (参照 2014-1-27)

#### **4. 投稿について**

論文の投稿は、電子投稿システム「ScholarOne Manuscripts™」で行う。投稿要領については別紙に従い投稿する。

#### **5. 掲載料とその他著者負担について**

組上がりで規定ページ内の場合は無料とする。規定ページを超える場合は、1 ページあたり 15,000 円の著者負担とする。また、カラー印刷にかかわる代金、図のトレース代は著者負担とする。

#### **6. 著者校正と別冊・PDF データについて**

- 6-1. 初校は著者に送付するので、期日までに返送すること。期日までに返送されない場合は掲載が遅れることがある。初校校正以降の誤りは著者の責任となるので注意深く校正すること。
- 6-2. 校正では、字句の誤りのみを訂正すること。内容にかかわる変更は、著者の変更、キーワードの変更などを含め、一切認めない。
- 6-3. 校正の際、別刷単価（送料を含む）を通知するので、校正刷り返送の際に部数を指定すること。掲載料等有料費用に加えて、振込用紙により振り込むこと。PDF 作成希望の場合には実費を請求する。

#### **7. 論文の著作権について**

掲載論文の印刷、刊行、図表の引用および転載に関する許可の権限は日本小児科学会に帰属する。掲載論文の抄録部分（要旨を含む）のデータベースや抄録雑誌への二次的使用ないし転載、および当該論文の複写許諾権は日本小児科学会に委託されたものとする。

---

## **8. 地方会および分科会の講演内容抄録の掲載要領**

- 8-1. 表題、演者名、所属のみの掲載、および一次抄録での掲載は行わない。
- 8-2. 抄録は、表題、演者名、所属を含めて1題600字詰め1枚以内とする。追加討論、指定発言などは、300字以内とする。図表は掲載しない。
- 8-3. データを日本小児科学会雑誌編集委員会宛（nichijishi@jped.s.or.jp）に送付すること。
- 8-4. 掲載は、実費とする。

## **9. 「雑報」欄への投稿について**

開催案内は編集委員会にて採択し、無料で掲載する。以下の例によったデータを日本小児科学会雑誌編集委員会宛（nichijishi@jped.s.or.jp）に投稿すること。

(例)

第100回日本小児科学会学術集会

会長：日本太郎（日本小児科大学）

会期：200\*年\*月\*日（\*）～\*日（\*）

会場：日本小児科学会

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-5 第一馬上ビル 4階 電話：\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*

学会メインテーマ：小児医学・医療の進歩と社会への調和をめざして

演題応募締め切り：200\*年\*月\*日

学会ホームページ：<http://www.jped.s.or.jp/> 詳しい情報はホームページをご覧ください。

学会事務局：第100回日本小児科学会学術集会事務局

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-5 第一馬上ビル 4階 日本小児科学会

TEL：\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\* FAX：\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\* E-mail：\*\*\*\*@\*\*\*\*.\*\*. \*\*

## **10. 「編集委員会への手紙」欄への投稿について**

- 10-1. 編集委員会への手紙は、掲載論文の内容に関する意見、質問とし、原則として該当論文の著者からのそれに対する返答と共に掲載する。掲載の採否は編集委員会にて決定する。
- 10-2. 投稿論文の内容に関する質問・意見は900字以内、文献は3編以内までとする。回答は1,200字以内（文献を含む）とし、図、表は掲載できない。
- 10-3. 掲載は原則として1回限りとする。掲載の採否は編集委員会にて決定する。掲載に関する費用はかからない。
- 10-4. 日本小児科学会雑誌編集委員会宛（nichijishi@jped.s.or.jp）に投稿すること。

付則

本規程は平成 25 年 1 月 29 日改訂、平成 25 年 3 月 1 日から適用する。この規程の改廃は、理事会の決議を経て行うものとする。

2 この規程は平成 26 年 2 月 16 日改訂、平成 26 年 5 月 1 日から適用する。

## 投稿要領

1. 論文の投稿は、電子投稿システム「ScholarOne Manuscripts™」で行う。論文は、本文、図、表についてそれぞれファイルを作成し、投稿ウェブサイトからアップロードする。必ず投稿前にファイル内の文字化け、画像の鮮明度などを確認する。実際の投稿の仕方は、学会 WEB サイトおよび投稿 WEB サイト上の投稿マニュアルに記載してあるので参照のこと。  
投稿 WEB サイト：<http://mc.manuscriptcentral.com/jjps>（日本小児科学会 WEB サイト内リンクより移動可）
2. 原稿は文章作成ソフトを使用し、A4 判縦用紙に横書き（原則として 12pt で double space）とし、タイトル頁に文字数（本文＋図表、スペースを含めない）を記すこと。標準的なフォント（MS 明朝、MS ゴシック、Osaka など）を用いた Microsoft 社の Word での作成を推奨する。
3. 図は DOC (X)、XLS (X)、PPT (X)、JPG、TIFF、GIF、AI、EPS および PSD フォーマットなどのオリジナルファイルをアップロードする。印刷原稿の解像度として、300dpi を必要とする。トレースを必要とする場合およびカラーで掲載を希望する場合はその旨を明記する。
4. 表は標準的なフォント（MS 明朝、MS ゴシック、Osaka など）を用いた Microsoft 社の Excel での作成を推奨する。また、表題をつける。
5. アップロードファイルは、下記に例示（拡張子を含む）したように半角英数字を用いてファイル名を付ける。  
例)  
論文原稿：MainDocument. doc  
図：Fig1. jpg Fig2. jpg Fig3. jpg  
表：Table1. xls Table2. xls Table3. xls
6. アップロードするファイルサイズは、すべてのファイルの合計で 20MB までとする。